

令和7年度 高志中学校入学式 式辞

例年より長かった冬もようやく終わりを迎え、柔らかな春の日射しに心躍る季節となりました。桜の花も皆さんの入学を祝おうと開花を待っていてくれたかのようです。この佳き日、PTA会長様、副会長様をはじめ、保護者の皆様のご臨席を賜り、厳粛な中にも温かい雰囲気の中、令和7年度 福井県立高志中学校の入学式を挙行できますことに、厚く御礼申し上げます。

ただ今入学を許可しました89名の新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。保護者の皆様もおめでとうございます。新入生の皆さんは、義務教育最後の3年間を過ごす場として、自らの高志中学校を選び、入学して来られました。入学式を迎えた今、その決意をもう一度思い出していただきたいと思います。

ところで皆さん、義務教育は何のためにあるのか考えてみたことはありますか。我が国の義務教育について定めた教育基本法第5条によると、「義務教育として行われる普通教育は、各個人の有する能力を伸ばしつつ社会において自立的に生きる基礎を培い、また、国家及び社会の形成者として必要とされる基本的な資質を養うことを目的として行われるものとする。」と規定されています。小学校を卒業したばかりの皆さんには少し難しい文章ですが、大事にされていることが3点述べられていたことに気づかれたでしょうか。少し表現をかみ砕きながらお話ししたいと思います。

一つには「個人の能力を伸ばすこと」です。適性検査を受けて入学してきた皆さんですから、その思いはとても強いのではないかと思います。本校には、様々な能力を持った生徒の皆さんが集まっています。そして、高校の学習内容の先行履修があったり、一般の中学校より外国語指導助手の英語の授業が多かったりと、皆さんの希望に応えるカリキュラムになっています。様々な体験学習やプログラムも充実しています。高志中学校でしか経験出来ないことを楽しみ、実りある中学校生活を送るとともに、自身の能力を存分に伸ばしてほしいと思います。

二つめに、「自立の基礎を培うこと」です。今日から皆さんは中学生です。これまで家族に頼ってきたことも、少しずつ自分でできるようになっていってほしいと思います。朝、自分で起きる、時間の管理をする、部屋の片づけをするなど、小さなことから構いません。今日帰宅したら、「中学生になったから今日からこれは自分でやる」ということを、是非、宣言してほしいと思います。皆さんの中には、遠距離通学となり、公共交通機関を使って通学する人もいるでしょう。不安もあるでしょうが、社会勉強の機会ととらえ、活用してください。皆さんが中学校3年間、中高の6年間で大人になっていく様子を拝見できることを楽しみにしています。

最後に、「社会人となる基本的な資質を養うこと」です。抽象的なので、どんな資質なのかと聞きたくなりますが、私は「協働する力」（「協力」の「協」に「働く」と書く「協働」です）に尽きると思っています。いくら個人の能力が高くても、一人でできることは限られています。先行きが不確実で、将来の予測が難しいと言われる時代だからこそ、私たちは、みんなの知恵を結集し、手を携え、未来に向けて進んでいかなければならないのです。本校には県内各地から集まった大勢の仲間がいます。高校生も同じ敷地内にいて一緒に活動する機会もありますので、地域の中学校と比べると、年齢、経験ともに幅の広い人たちと知り合い、ともに学校生活を送ることになります。この環境を生かし、協働する経験を重ねることで、たくさんの人からいろいろなことを学ぶとともに、助け合い、励まし合い、人間的にも大きく成長してほしいと願っています。

本校の校訓は、「克己・創造・敬愛」です。順番は違いますが、義務教育の理念に通ずるものだと思います。最初に申し上げましたが、入学式を迎えた今、改めて、本校への入学を選んだ決意を思い出し、明日からの学校生活につなげていってください。

新入生の皆さんは、本校の第11期生となります。まだ歴史の浅い学校ではありますが、皆さんは、本校の新しい10年の最初の入学生だということです。皆さんの能力と行動力を十分に発揮し、高志中学校の新しい10年を切り拓いていってください。高志中学校での3年間、高志高校も含めた6年間での皆さんの成長に心から期待して、式辞といたします。

令和7年4月7日

福井県立高志中学校長 朝倉 智子